

はじめに

このたび、兵庫県立健康生活科学研究所健康科学研究センター研究報告の創刊号を刊行する運びとなりました。

平成21年度、県民のくらしの安全・安心に関わる諸問題に一元的に対応するため、健康科学研究センターは環境部門を分離し、あわせて、県内消費生活センターの中核として消費生活相談、原因究明テスト及び技術相談を行う生活科学総合センターと統合して、県立健康生活科学研究所が発足しました。今号は、新たなスタートとなった県立健康生活科学研究所健康科学研究センターの初めての報告として発行するものです。

これまで、健康科学研究センターは、昭和23年に設置された県立衛生研究所を出発点とし、県民の安全・安心を確保するため、公衆衛生に関する調査研究や試験検査を行い、感染症や食品、医薬品、飲料水などに関する科学的、技術的根拠を情報提供してきました。

これからも、新型インフルエンザを始めあらゆる感染症及び食品、医薬品や飲料水による健康被害等の危機管理に対応するため、健康福祉事務所等と連携しながら、危機管理に直接関わる調査研究・試験分析業務等の実施に努めてまいりますとともに、生活科学総合センターと一体となった趣旨を踏まえ、消費生活相談で把握される食の安全・安心をはじめとする県民からの研究・調査分析ニーズに対応してまいります。

今後とも、皆様方の引き続きのご指導ご支援をお願いいたしますとともに、本研究報告に対しても忌憚のないご意見を賜れば幸いです。

兵庫県立健康生活科学研究所健康科学研究センター
所長兼センター長 山 村 博 平